

令和7年度 第6回 治験審査委員会

1. 日時：令和8年3月16日(月) 午後4時30分～午後5時00分

2. 場所：事務局内会議室4

3. 出席者 10名

委員長	医師	副医局長兼臨床研究部長	木村 智樹
副委員長	薬剤師	薬剤部長兼臨床研究部次長	山田 哲也
委員	医師	副医局長兼脳神経内科主任部長	湯浅 浩之
	医師	循環器内科部長兼臨床研究部次長	神原 貴博
	技師	臨床検査部技師長	石原 誉志美
	看護師	看護管理部長	大矢 なぎさ
	事務	財政課長兼財務係長兼管財経理係長	加藤 幹也
	事務	臨床研究部治験管理室	加藤 淳人
外部委員		元公立瀬戸旭看護専門学校事務局長	横江 俊次
		元瀬戸市ノベルティ子ども創造館館長	加藤 流慈

欠席者 6名

医師	副院長	大河内 治
医師	健康管理部主任部長	松浦 哲生
医師	整形外科部長	遠藤 浩二郎
医師	腎臓内科主任部長	稲葉 慎一郎
看護師	看護外来看護師主任	野田 里美
事務	事務局長	熊谷 由美

審議については、病院治験審査委員会標準業務手順書の第5条の4ならびに医師主導治験における治験審査委員会標準業務手順書の第5条の4を満たしたため、会が成立審議を始めた。

4. 議題

【審議事項】

- 1) インスメッド合同会社の依頼による間質性肺疾患に伴う肺高血圧症患者を対象としたトレプロスチニルパルミチル吸入粉末剤の第3相試験

(インスメッド)

⇒これまでに得られている臨床試験成績に基づき、治験実施の妥当性について審議した。

審議結果：承認

- 2) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による心血管疾患の既往を有する患者を対象としたTQJ230の第III相試験

(ノバルティスファーマ)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

審議結果：承認

- 3) アムジェン株式会社の依頼による心血管疾患を対象としたOlpasiran (AMG890) の第III相試験

(アムジェン)

⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。

⇒(2026.2.27) 治験実施計画書、説明文書、同意文書、治験の費用の負担について説明した文書、その他について審議した。

審議結果：承認

- 4) 特発性肺線維症患者を対象とした BMS-986278 の有効性、安全性及び忍容性を検討する試験  
(ブリストル・マイヤーズ スクイブ)  
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。  
審議結果：承認
- 5) 進行性肺線維症患者を対象とした BMS-986278 の有効性、安全性及び忍容性を検討する試験  
(ブリストル・マイヤーズ スクイブ)  
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。  
⇒ (2026. 3. 2) 治験に係わる費用負担について審議した。  
審議結果：承認
- 6) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症患者及び進行性肺線維症患者を対象とした BI 1015550 の長期継続第Ⅲ相試験  
(日本ベーリンガーインゲルハイム)  
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。  
⇒審議依頼施設で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。  
⇒ (2026. 2. 25) 治験実施計画書、説明文書、同意文書、その他について審議した。  
審議結果：承認
- 7) 全身性強皮症に伴う間質性肺疾患の患者を対象として治験薬の安全性及び有効性を評価するプラットフォーム試験  
(メドペイス・ジャパン)  
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。  
審議結果：承認
- 8) MD-712 第Ⅱ/Ⅲ相試験  
(持田製薬)  
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。  
審議結果：承認
- 9) ノバルティスファーマ株式会社の依頼による心血管系疾患の既往を有する患者を対象とした pelacarsen(TQJ230)の第Ⅲ相継続投与試験  
(ノバルティスファーマ)  
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。  
審議結果：承認
- 10) 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社の依頼による特発性肺線維症 (IPF) 患者を対象に、標準治療の併用又は非併用下で BI 765423 を投与したときに肺機能への効果がみられるかどうかを検討する試験  
(日本ベーリンガーインゲルハイム)  
⇒ (2026. 2. 20) その他について審議した。  
審議結果：承認
- 11) 肺線維症の家族歴及び間質性肺異常を有する人を対象に、悪化リスクの軽減を目的としてネランドミラストを 24 カ月投与した時の有効性及び安全性を検討する二重盲検、ランダム化、プラセボ対照、探索的試験 (DROP-PFP)  
(日本ベーリンガーインゲルハイム)  
⇒安全性情報をもとに治験の継続について審議した。  
⇒ (2026. 2. 26) その他について審議した。

審議結果：承認

**【次回開催日】**

令和8年5月25日(月) 16時30分より